

可能性広がる、一生の仕事を見つけました！

りんご
就農4年目

こがわ

だいすけ

古川

大主希さん（35歳）



★ 弘前市

History

（就農まで）

弘前市出身。高校卒業後、就職を機に上京したものの2年後、生まれ育った弘前へUターン。りんご販売店を経て、材木店で勤務。そこでりんご農家と大工を兼業している方と知り合いりんご栽培についていろいろな話を聞いていました。その後、自分の一生の仕事について考えていたところ、弘前市の主産業の「りんご栽培」で課題となっている後継者不足のニュース等を実際に見て、就農を決意しました。

美味しい弘前りんごを全国に届けたい！

就農にあたり、農地はりんご販売店で働いた時の先輩から紹介してもらい、栽培管理されていた優良園地を取得。一年目から収穫が可能であったものの、ゼロからの就農で研修等も受けていなかったため、収量の約半分が加工用になってしまいました。

それでも気持ちを強く持ち、ほぼ毎日、園地に通いながら、近隣の生産者や農協の普及指導員の方々にアドバイスいただき、一年を通しての様々な作業や技術を学びました。

4年目の今年、皆さんのお陰で、品質、収量ともに大きく伸ばすことができます。

《活用した支援事業》

- ・ 農業次世代人材投資資金（経営開始型4年目）
- ・ 資金調達（日本政策金融公庫）



Farm

（経営概要）

- 経営面積：1.9ha
- 栽培品目：りんご
- 主な保有機械：スピードスプレヤー、草刈り機
高所作業車ほか
- 労働力：本人、母親（繁忙期：アルバイト7名）
- 販売先：JA、市場、仲買人

Own Style (自分流)

古川さんの一年

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 (月)



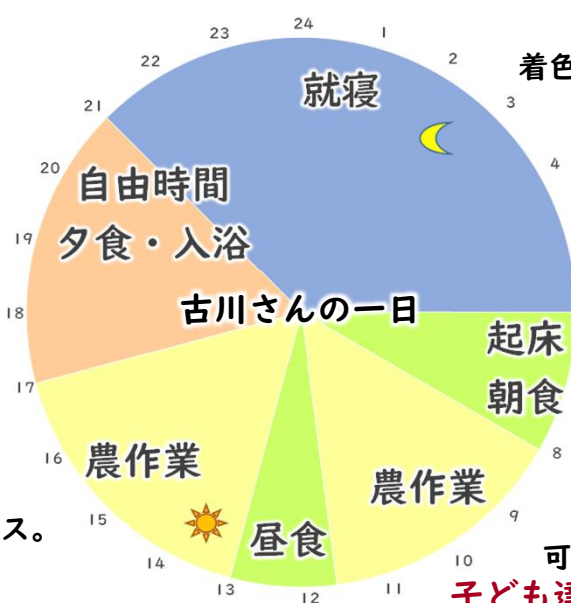
日々の精進

整枝・剪定作業や摘果、選果作業は熟練の技。毎日が勉強。
見栄え良く、蜜の詰まったおいしいりんごを作りたい。
そして、独自で販路を広げていきたい。



大きくなったら
僕に任せて！
頼もしい子ども達

子ども達に合わせて
早寝早起き。
たまの休みは家族サービス。
そして、
夜はビールで乾杯！



今年の夏は暑かった…

着色のための葉取りが致命傷。
葉を取らなくても
日焼け果発生

値上がりの波…

園地までは車で
片道40分。
燃料費をはじめ
資材も農薬も
すべて高騰

不安要素は多いけれど
可能性広がる、りんご栽培。
子ども達につなげていきたい！

Vision

(戦略・将来像)

当面は栽培面積を増やしたい。ももやいちごなどの栽培にも挑戦したいです。
経営が安定し余裕が出てきたら、自家栽培の果物を使って、直売店やカフェの経営もしてみたいです。

Photo album

(写真集)



高所作業車を導入
収穫作業が楽に



たわわに実ったりんご



りんご園運搬車
(通称オバケ)

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

ゼロから就農は、栽培技術の習得の他、園地や資材の確保、資金調達など準備が沢山あります。
また、家族の理解、農協や市役所等の支援も大事です。まずは、いろんな人に相談してみましょう。



自然が相手。人事を尽くして天命を待つ！

かさい

たかひろ

葛西

貴大さん (29歳)



History

(就農まで)

田舎館村出身。幼少期は農業に興味がなかったのですが、農業高校、青森県営農大学校へ進学。卒業後は肥料メーカーに就職し、営業職として4年間、東京と青森で勤務。青森で担当したJAの方々とお会いしているうちに、地元で働くことに魅力を感じ、いちご農家に挑戦しました。

美味しい冬いちごをお届けします！

地元の田舎館村には「田舎館いちご研究会」があり、甘くて香り豊かないちごの栽培が盛んです。就農について悩んでいた時に、研究会の方が親身に相談に乗ってくださり、それがきっかけでその先輩から研修を受けました。

研究会の寒さを活かした栽培の知識や技術を1年半学び、令和3年に独立。クリスマス時期に需要が高まる冬いちごの栽培をしています。多くの方へ、美味しい田舎館いちごをお届けしたいです。

《活用した支援事業》

- ・農業次世代人材投資資金
(準備型2年)
(経営開始型3年目)
- ・資金調達
(日本政策金融公庫)



Farm (経営概要)

- 経営面積：9.9a
(ビニールハウス3棟+育苗ハウス1棟)
- 栽培品目：冬いちご (品種：とちおとめ)
- 主な保有機械：トラクター、畝上げ機、
ハウス暖房ボイラー
- 労働力：本人 (繁忙期：親戚2名)
- 販売先：市場

Own Style (自分流)



目指せ坪単価 2 万円！

(冬いちご一人前の目安)

サラリーマン時代に比べると、
仕事量は約 5 倍！
メンタルは鍛えてあるので、
一人前の目安に向かって、
邁進していきます。

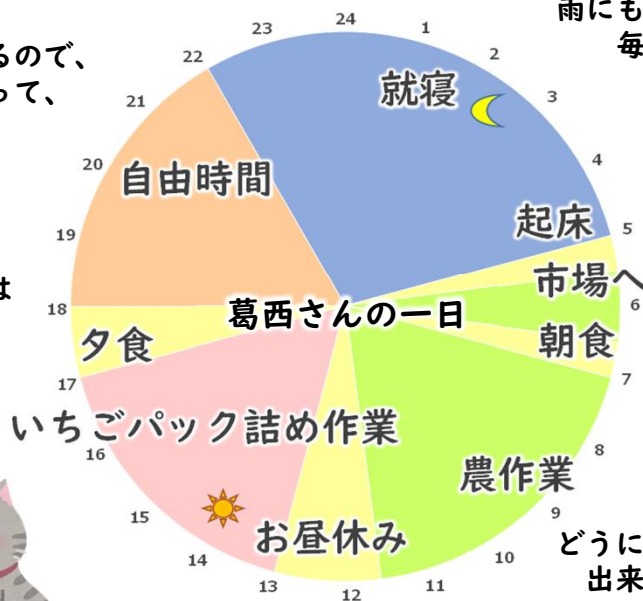
仕事終わりの楽しみは
DVD鑑賞！

余裕ができたなら…
猫を飼ってみたい



乾燥に弱い冬いちご。
冬場のハウスの湿度管理が一番重要。

雨にも負けず、風にも負けず、
毎日ハウスに向かいます。



農業は
天候や植物が相手。
どうにもならないこともある。
出来るだけの力を尽くすこと
それが結果に繋がっていく。

Vision

(戦略・将来像)

今も師匠に相談しながら、日々努力しています。早く一人で美味しいいちごが作れる様になりたいです。
収入の安定を図るため、ハウスを一棟増設したいです。

Photo album

(写真集)



育苗中の苗



元気に育っています



12月頃収穫予定

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

農業を始めるためには、経営資金や生活資金の準備が必要です。そのための補助金がありますが、農地を用意しないと補助を受けることができません。事前に農地取得の準備をしましょう。



何事も頑張りすぎないこと



なりた

成田

まさと

正人さん

(43歳)

えみ

絵望さん

(43歳)

大鰐町

History

(就農まで)

大鰐町出身。絵望さんは元保育士。高齢化や人口減少の影響で、生まれ育った町や地域の活気がなくなっている事が気になり、町を元気にするため自分に何かできないかと模索。子供の頃からスキーや陸上で体を動かす事が好きだった絵望さんは、農作業はスポーツに似ていると思い、「そうだ！自分で農業を始めよう！」と動き出しました。

甘いトマトを子供たちに届けたい！

保育士時代、給食に甘くて美味しいミニトマトが提供されたとき、子ども達は残さず食べてくれました。そこで、自ら甘くて美味しいミニトマトを作って届けたいと、就農を決意。

知り合いの農家や町役場へ相談、家族や地域の皆さんの協力をいただき、町内のミニトマト農家の元で、一年間の作業を手伝い、生産技術を学びました。研修を終える頃には、絵望さんの頑張っている姿を見守ってきた正人さんも、会社勤めを辞めて一緒に農業に取り組むと決意し、夫婦で甘くて美味しいトマトを作っています。

《活用した支援事業》

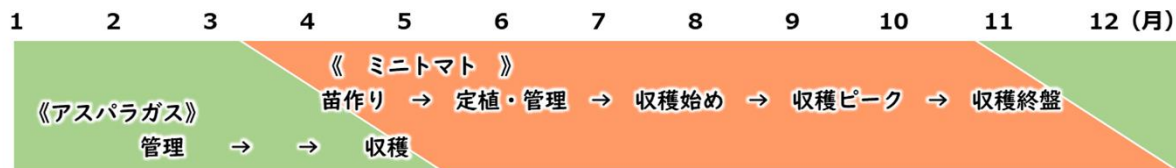
- ・農業次世代人材投資資金 (経営開始型3年目)



Farm (経営概要)

- 経営面積：ミニトマト80坪3棟、60坪2棟
アスパラガス10a
- 主な保有機械：トラクター(中古)、エンジンポンプ、ミニトマト選果機、かん水装置
- 労働力：主に夫婦、繁忙期は絵望さんの母が手伝い
- 販売先：規格品はJA、規格外品は自宅前で無人販売

Own Style (自分流)

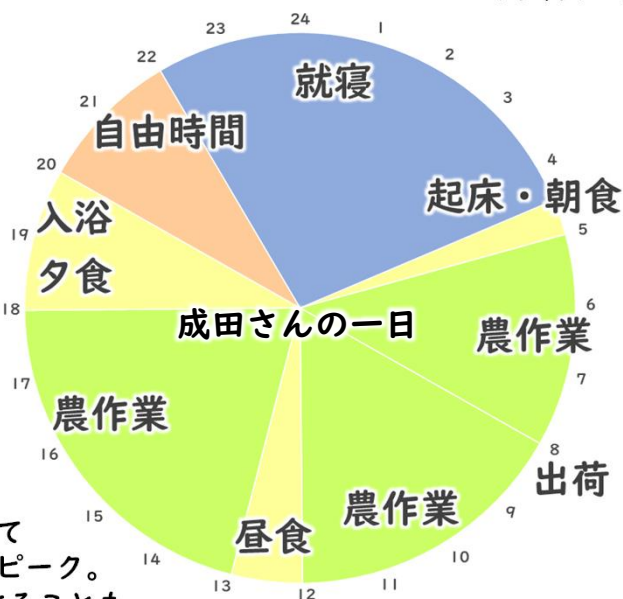


苗作りから始まるミニトマト栽培。
大きな実りとなるように、大切に育てています。



収穫期は、
朝の涼しい時間から
作業開始。

明朝8時の出荷にあわせて
選果・パック詰め作業がピーク。
時には21時頃まで作業することも。



基本、休日はないけれど、
夫婦共に、体を動かすのが好き。

10月以降は、
正人さんはアルバイト
絵望さんはスキー場に
勤務しています。

おすすめレシピ



たっぷりミニトマトの
アヒージョ

Vision

(戦略・将来像)

将来的には、野菜の他に果物栽培にも取
り組み、経営安定を図りたい。
当面は、初期投資の少ない方法での規模
拡大を検討し、令和6年からハウスメロ
ン栽培にチャレンジ。ハウスメロン離農
者から農地を借り、栽培指導を受けなが
ら取り組みます。

Photo album (写真集)

Message

(農業を始めたい皆さんへ)

農業は頑張れば頑張った分、自分の収
入に繋がる、やりがいがある職業です。
また、子供の行事や生活スタイルに合
わせて時間調整しながら作業の組み立
てもできます。
ワーク・ライフ・バランスをしっかり
考え、頑張りすぎずに仕事と家庭を両
立させましょう。



赤く色づいたミニトマト



大活躍の選果機



選別したアスパラガス